



- 圓徳寺駐車場
- ↓ 0:21
- 作業路入口
- ↓ 0:06
- 引返し
- ↓ 0:05
- 第1水門
- ↓ 1:30
- 広場
- ↓ 0:12
- 鉄塔標柱
- ↓ 0:09
- 宮地岳神社
- ↓ 0:05
- 宮地岳(389m)
- ↓ 0:24
- 第3水門
- ↓ 0:12
- 支線出合
- ↓ 0:28
- 圓徳寺駐車場

阿志岐山城跡 2021.1104(木)晴れ

圓徳寺駐車場→作業路入口→第1水門→鉄塔標柱→宮地岳神社祠→宮地岳(339m)→第3水門→支線出合→圓徳寺駐車場



圓徳寺駐車場への駐車許可を得て車を止め、歩き始める。



林道中阿志岐線のチェーンを抜ける。



直ぐ先の左に案内板を見る。



林道を緩やかに上って行く。



分岐A 右に上って行く支線を通して。帰路、これを下って来た。



右カーブの所で、西側竹林の奥に墓地を見る。



再生碎石転圧路を通過する。



右側道路下に古道が通っている。



舗装路となった。



右に砂防ダムを見送る。



分岐Bに出会い、直進する。



道なりに進む。



作業路入口 右の作業路に入る。



荒れた作業路を進む。



コンクリート製の橋を通過する。



道なりに進む。



沢に出会い、下流に下ると砂防ダムの裏側が見えた。



西側に平場の地形が広がっている。



第1水門 右の石積みが残るだけで中央部は崩壊している。



河床の加工石。



南側の斜面に取付く。



砂防ダムの左岸際を抜ける。



トラロープが現れ、急な斜面を上って行く。



北西に支尾根が派生している。



斜面を上って行く。



南東へ斜面を上って行く。



尾根から北に宝満山が望まれた。



西斜面に赤ヒモを辿る。



矩形の切石を並べた列石に出会い、これに沿って進む。



尾根筋に立ち寄ったが、周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



2段積みの列石。



列石に沿うように進んで行く。



矩形に加工された列石を見る。



シダに隠れた列石際を上って行く。



2段積みが見られる列石を通過する。



列石を取込む樹木。



東斜面の上部にブルーシートを見て、駆け上がる。



復旧斜面へ向かう。



展望Aから北北西に若杉山を望む。



展望Bから北に若杉山を望む。



急な斜面を上って行く。



踏跡を辿る。



弱い支尾根に境界杭を見る。



前方が沢状地形となって来た。



沢地形の中に大岩を見る。



東方向へ斜面を上って行く。



東斜面の様子。



南東へ緩く上って行く。



広場に出会う。



上空は開けているが、周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



南に2段の角岩を見る。



踏跡を南へ進む。



鉄塔標柱に出会う。



登山道を北へ進む。



鉄塔62号を見上げる。



中阿志岐分岐を右に見送る。



丸太階段を上る。



宮地岳神社祠に到着。



南が開け、展望が得られる。



南から見た祠。



スギ植林内を北北東へ進む。



電柱分岐 北北西の奥に電柱が見える。



鉄塔63号分岐に出会う。



右へ進む。



宮地岳(389m)に到着。



山名板。



明治30年選点の三等三角点:宮地岳を見る。



周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



鉄塔63号分岐に引返し、右へ向かう。



鉄塔63号を見上げる。



北西へ向かう。



スギ植林斜面の灌木を分け下って行く。



スギ植林内の急斜面を下る。



踏跡に出会い、これを辿る。



前方に石積みが見えた。



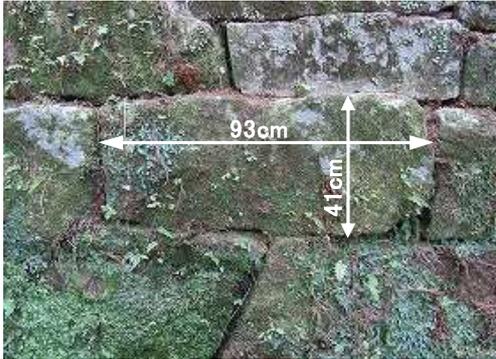
石積み天端を西へ進む。



梯子を下る。



第3水門



1つの石材寸法は長さ93cm高さ41cm。



矩形に加工された石材を布積みで施工しており、切り欠き加工や間詰石が見られ施工精度や完成度が高い構造物である。



天端から下流を見る。



尾根筋を下る。



保安林を振り返る。



復旧斜面を見送る。



植林斜面を下って行く。



林道支線に出会う。



塩ビパイプを抜け、道なりに進む。



山側に列石を見る。



3つ目の左カーブへ向かう。



分岐Bに出会い、右折する。



舗装路を下って行く。



途中からショートカットした斜面に加工された切石を見る。



分岐Aに出会い、左折する。



林道のチェーンを抜ける。



圓徳寺に挨拶し、駐車場を望む。奥に油山が見え、左に脊振山系が連なる。



駐車場に帰着いた。



ヤマハッカ



ヒヨドリジョウゴ